

大空 (生徒・保護者向け) 8号

宮崎県立宮崎西高校・宮崎県立宮崎西高等学校附属中学校 校長通信

令和2年6月1日(月)

応援される人生

□本日の概要

- いい人生とは「自分のことを応援してくれる人が多い人生」である。
- 応援されるためには、まず、自分が誰かを一生懸命応援することである。
- 最も基本的な応援メッセージは挨拶である。挨拶のレベルを上げると、結果的に自分が元気になる。
- 皆さんの最大の応援団は保護者である。本校にすでに存在する、皆が応援し合い高め合う関係性を、より高めていきたい。

□「応援」の意味について考える

延岡に「寅彦」さんという老舗和菓子屋があります。(以前は、「虎屋」という店名でした。) 破れ饅頭が有名です。創作菓子の「さざれ石」なども大変おいしい。ちなみに、HPに掲載されている「あんこ革命」も製品誕生の裏話で面白いです。でも、今日は、「寅彦」さんの宣伝をしたいのではありません。かなり前のことですが、私は、「寅彦」の社長である上田耕市さんの講演を聞く機会がありました。講演の内容は多岐にわたりますが、その中で上田さんは「応援」の大切さに触れ、その話が心に残りました。それ以来、私は、高校総体推戴式や表彰式など「応援」に縁のある行事ごとに、応援すること、されることの大切さを話してきました。

実は、本校の経営案にも、「本校の目指す生徒像」として、「誠実、敬愛、創造」の校訓を踏まえながら、「自分や他者を全力で応援する生徒」という言葉を入れています。折しも、本来なら高校総体の期間です。今日はちょっと「応援」の意味を考えてみてください。

□いい人生とは何か

人生の最大のテーマは何でしょうか。上田さんは、人生が終わりになるうとするとき、「ああ、本当に俺の人生、いい人生だった、ありがとう」と言って、にこっと笑って死ぬる人生だと語っていました。

それでは、「いい人生」とは何でしょう。

上田さんは、それは、「自分のことを応援してくれる人が多い」人生だといいます。

オリンピック選手の例で考えてみましょう。彼らは夢にチャレンジしています。そのチャレンジャーだけしか得られないものがあります。

それは、「応援」です。

結果や成果ではありません。スポーツの選手なら負けることは必ずあります。スポーツ以外の分野でも、結果が出ないことはあるでしょう。しかし、負けて、失敗しても、チャレンジした人は、その頑張りによって、周囲の応援を得られるのです。オリンピックで活躍した選手たちは、皆、「応援してくれて有り難うございます。」「皆さんのおかげで、この舞台に立てて幸せです」と周囲に対する感謝の言葉を述べています。これは、選手が謙遜して同じような言葉を言っているのではありません。彼らの本音なのです。彼らは、自分たちの力が、周囲の応援によって引き出されたことを実感しています。応援があるからこそ、自分の力を発揮することができるのです。つまり、応援してくれる人が多いということは、自分の力を2倍、3倍にししてくれる人が沢山いるということです。

(だから、無観客試合は選手にとって大変つらいことだと思います。) 自分の力が、他者からの応援によって数倍にも膨れ上がる、これはすばらしい体験であり、そんな体験ができた人生は、上田さんが言うように「いい人生だった」と言えるのだと思います。

□応援されるために必要なこと

それでは、多くの人に応援してもらうためにはどうしたらよいでしょうか。

それは、まず、自分が他の人を応援することです。上田さんはこう言いました。「応援をしたりされたりする人生がいい人生である。誰かを一生懸命応援すると、応援している人の頑張り感動のエネルギーをもらうことができる。誰かを応援すると、自然と自分も応援されるようになる。人に何かを与える人が、結局何かを与えられる。」と。

スポーツの場合、同じ競技をしてる仲間は、ライバルでもあります。優勝だけが目的なら、ライバルが少ない方がいいでしょう。ライバルの脱落

を望む人もいるかもしれませんが。しかし、偉大なライバルとして、尊敬の心を持って競い合いながらお互いを高める選手の姿を私たちは見ることがあります。残念ながら延期になりましたが、オリンピックなどが魅力的なのは、金メダルという結果以上に、お互いが良きライバルとして切磋琢磨する選手の姿を見ると、私たちもエネルギーをもらうことができるからではないでしょうか。

□脳科学からの分析

この作用は脳科学でも研究されています。人間の脳にはミラー細胞というものがあるそうです。これは他の個体の行動を見て、まるで自分が同じ行動をとっているかのように「鏡」的な反応をする細胞です。このミラー細胞は、他人がしていることを見て我がことのように感じる共感(empathy)能力を司っていると考えられています。赤ちゃんが微笑むのは、微笑みという感情を理解しているのではなく、母親の表情をまねているのです。でも、この作用で、赤ちゃんは「ほほえみ」という感情を学習し、人とコミュニケーションをとることが心地よいことだと理解します。

この「共感力」(empathy)についても、本校では育成すべき資質能力として経営目標に挙げていますが、共感力の育成は決して難しいことではないのです。基本は、友達に応援メッセージをおくことです。一番基本的な応援メッセージは、挨拶です。「おはよう」の一言が一番簡潔な応援メッセージです。だから、どの世界でも、どの業界でも挨拶を重視しているんですね。

あなたの挨拶が、誰かのエネルギーになります。すると、その誰かのエネルギーが、あなたの力を引き出します。同じように、他者を応援すると、自分も楽しく、元気になります。まず、身近なところで、挨拶する人を増やしたり、トーンを上げたりして挨拶のレベルを上げてみませんか。

□宮崎西高校のエネルギー



自分の応援が他者を元気にし、他者の元気が自分をさらに元気にする好循環、いわばエネルギーのスパイラル現象が宮崎西高校ではっきりと見える場所があります。職員室前吹き抜けの学習スペースです。毎日、多くの生

徒が管理棟吹き抜けの机で学習に打ち込んでいます。そこに座ると、両隣だけでなく、向かい側や、上の階で頑張っている生徒の姿や照明がちらちら見えます。頑張ってる人のエネルギーがひしひしと伝わってくるので、自分もまた頑張れる。宮崎西高校を代表する、本校らしい空間だと思います。私が1階から見上げると、吹き抜けをぐるぐる渦巻きながら天井に上昇する皆さんのエネルギーが見えます。司馬遷の『史記』「鴻門の会」で有名な項羽の軍師、范増のいう「氣」が立ち上っているのです。(本当です。何のことか分からない人は自分で調べてください。)ちなみに、この机で仕事をするとはかどるといふ先生もいますが、これは生徒の姿からエネルギーをもらっているのかもしれませんが。いずれにしても、この場所で勉強すると気合いが入るのは、理にかなっているのです。

□保護者が最大の応援者

「いい人生とは、応援したりされたりする人生である。」

「応援は、勝つための手段ではない。応援すること、されることが、人生の目的である。」

最後に、君たちの一番の応援者は誰でしょう。それは、君たちの「保護者」です。子供にとって、保護者が最大の応援団です。ですから、皆さんも「ただいま」の後に、「今日の弁当おいしかったよ。」の一言を添えましょう。君たちの一番のサポーターである保護者への感謝の気持ちを忘れないでください。君たちからの応援、感謝の言葉が、保護者としては最高の贈り物です。

また、先生方も、皆さんのサポーターです。保護者同様、「ありがとうございます。」の一言で先生たちは元気がでます。先生とはそういうものです。皆さんの頑張りを支えている先生を、皆さんも応援してください。

本校には、皆が「応援」メッセージを投げかけ合い、高め合う関係性がすでに構築されています。それをもっともっと高めていきたいと切に思っています。

※宮崎西高校・宮崎西高校附属中学校経営方針より「目指す生徒像」

- 誠実に学問に向き合い、自ら問いを立て主体的に探究し、全力で努力する生徒(誠実 学問への努力)
- 豊かな感性を持ち、他者や様々な価値観を尊重し、自分や他者を全力で応援する生徒(敬愛 自他の尊重)
- 世界を視野に、新しい価値の創造に挑戦し、全力で試練を乗り越える逞しい心身を持つ生徒(創造 逞しい心身)